

創立110周年 スローガン	立教183年 活動方針
「110周年の「ご」恩報じ 熱き心で 進め 網走」	「おやさまのひながたとは、 ようぼくを育て増やすこと」 ・初席者 104名 ・中席者280名

◇立教184年「おせち」中止◇
例年行われている本部御節行事が新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

◇昇殿参拝 来年5月まで継続◇
今年7月より実施している教会長による昇殿参拝が、来年5月までの継続がきまりました。今回は教会長に限らず、各教会の代表の方が参拝できます。詳細は各教会長にお聞きください。



発行所
天理教網走大教会
布教部出版広報掛
〒093-0073
網走市北3条西6丁目
TEL 0152-43-2227
FAX 0152-44-2227



大教会のHPがご覧になれます！
月報には掲載されない写真もいっぱいです！ぜひ一度ご覧下さい♪

人の御守護	
初席	中席
11月	
2席	1席
累計	
15席	18席



神殿講話要旨

神殿講話

栗林 徳正 准役員

大教会11月の月次祭は、12日午前9時30分から大教会長祭主のもと、執行された。
大教会長は祭文で、親神様の御守護に御礼申し上げた後、「十月の御本部の大祭には、久しぶりに神苑に大勢の参拝者が寄り集う中、網走大教会からも、昇殿参拝させて頂きましたこと心より厚く御礼申し上げます。私共教会長は、ちばの声に意識を集中し、お打ち出し頂いた教祖百五十年

大教会十二月月次祭

祭を見据え、当面は創立百十周年記念祭へ向け精一杯、にをいがけ・おたすけの御用に伏せ込ませて頂く所存でございます。」と奏上した。
その後座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められ、参拝者は共に勇んでみかぐらうたを唱和した。

先人のご尽力と志を胸に
立教百八十四年(令和三年)八月二十九日(日曜)
網走大教会創立百十周年記念祭執行

創立110周年実行委員会

現在我々にお見せ頂くお道の現状は大変なものであります。コロナ禍における本部参拝や、教会参拝の自粛、また、にをいがけ、おたすけ等丹精に關する自粛等、色々と節をお見せ頂いております。その中、心倒すことなく陽気ぐらし世界建設に向け、私たちがようぼくは教祖の道具衆として勤めさせて頂くことが大切であります。しかし、私たちの中に情性に流されたり、また、当たり前になったり、目の前

の事柄について自分の思いで推し進めたり、あるいは、一喜一憂するといった姿が多いのではないのでしょうか？親神様は私たちを苦しめよう、困らせようとしているのではなく、少しづつ色々なことをお見せ下さり、常に成人させてあげたい、進む道を直してあげたいとの親心を以ってお導き下さっております。このように考えさせて頂きますと教祖百三十年祭後からお見せ頂く節を通して、これから私たちが進む上での心の置き方や、勤め方を考えていきたいと思っております。
教祖百三十年祭の真柱様のお言葉に、
『こうして年祭を勤めた今日、改めて足元を見つめ直し、長い目で道の将来を担う人材を育てる、また、増やす活動に腰を据えて取り組まなければならぬ』(訓話集76巻28p)
更に、